

2021. 7. 5 (月) 城崎地域、港地区  
会場: 城崎市民センター 大会議室

「豊岡市立小中学校における適正規模・  
適正配置のあり方について」

# 答 申 説 明 会

豊岡市教育委員会



1

## 次 第

1. あいさつ
2. 答申の考え方
3. 再編の枠組(案)
4. 今後の進め方
5. 参考
6. 意見交換
7. アンケート

2

# 1. あいさつ



3

# 2. 答申の考え方

4

## 小中学校の**適正規模・適正配置**検討の必要性

- 近年の急激な少子化により・・・
  - ① 同級生がわずか数名
  - ② 複式学級を有する学校の増加等  
教育課題が増大
- 2019年に開催した教育懇談会では、保護者から不安の声や、学校統合を望む意見が多くあげられた。



豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会を設置、7回に渡り審議。(2021年2月答申)

5

## めざす教育

1. 国の学習指導要領  
「**主体的・対話的で深い学び**」の実現
2. 市の教育プラン  
**コミュニケーション能力**や**非認知能力**  
(やり抜く力・自制心・協働性)の育成



これからの将来…少子化、グローバル化、AI技術の発達等

子どもたちが多様な世界を生きていくために  
必要な能力を身につける必要がある

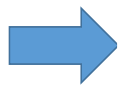
6

## 課題

1. 小規模校には小規模校の良さがあるが、複式学級が生じる程の極小規模校だと・・・

『小規模校の良さ』 < 『課題』

2. 現在行っている**小小連携の取組**は、事前調整や移動時間等の制約から、これ以上の拡充は難しい



**学校規模の適正化** が必要

7

## 適正規模の考え方

市の実情を考え、

- ①望ましい学校規模（理想とする姿）と、
- ②最低限確保したい学校規模（下限の目安） を設ける

複式学級が生じない

	望ましい学校規模	最低限確保したい学校規模
小学校	12～18 学級 (クラス替えが可能)	6学級以上 (各学年1学級以上)
中学校	9～18 学級 (十分な教員が配置可能)	3学級以上 (各学年1学級以上)
		(小中学校とも、各学年20人程度以上)

8

## 適正配置の考え方

通学時間と旧市町ごとの**歴史的・社会的背景**に配慮した学校配置とする

- ア 通学時間 概ね1時間以内とする  
※遠距離では、交通手段の確保が前提
- イ 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする
- ウ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする

旧市町域内に小・中とも1校は存続させる  
(地域の実情により例外あり)

9

## 小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

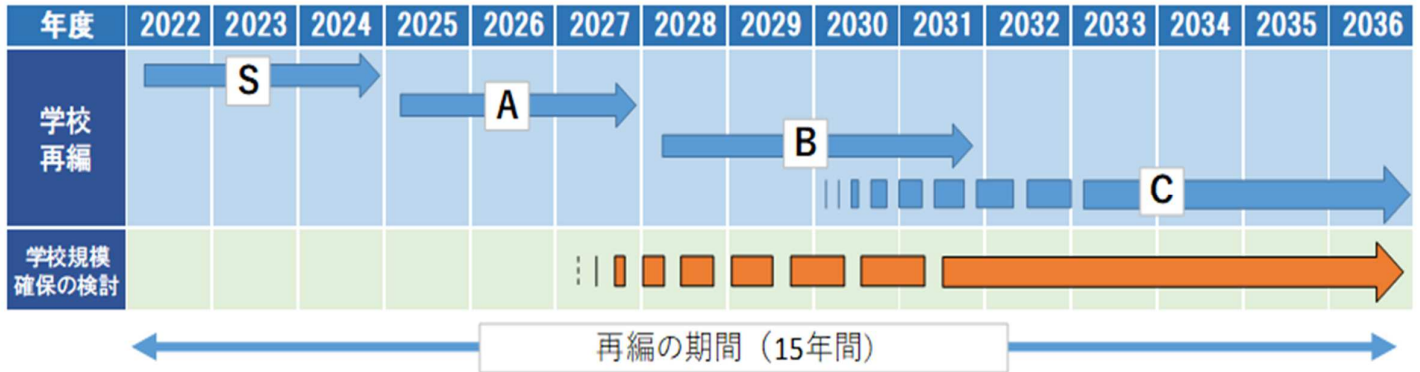
### 学校再編の手法の検討

検討内容		検討結果	
1	通学区域の見直し	×	● 地域コミュニティの分断に繋がる
2	小規模特認校の導入	×	● 効果は一時的・限定的であり、複式学級の解消にはつながらない ● 逆に近隣の小規模校では児童の流出につながる ● 子どもと地域のつながりが希薄になる
3	学校の統合	○	● 学校統合を基本として学校再編を進める ● 要件が満たされる場合には、 <b>「施設一体型小中一貫校」</b> を検討

10

# 小中学校の適正規模・適正配置を実現するための学校再編

## 再編の期間と優先順位



S : 最優先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に複式学級が生じている小学校</li> <li>・将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校</li> <li>・小規模化による課題が生じている（生じる）中学校</li> </ul>
A : やや急ぐ	
B : 5～10年後	
C : 11～15年	

11

## 3. 再編の枠組(案)

12

## 城崎地域、港地区の再編の枠組(案)

No.	検討対象校	枠組(案)	優先度
1	港小学校	港小 + 城崎小	C 11~15年

### 【考え方】

- 港小学校は、10年～15年以内に複式学級が生じる見込み。
- 港小学校の近隣の小学校は城崎小学校しかないこと、学校間の距離が比較的近いこと等から、旧市町域を越えた再編を検討する必要がある。
- 港中学校・城崎中学校の再編も必要であり、将来的には、施設一体型小中一貫校とする検討も必要。

13

## 港小学校の学年別児童数見込

	2021年度	2027年度	2021年5月1日時点 (単位：人)	
1年生	7	6		
2年生	16	12		
3年生	19	9		
4年生	14	15		
5年生	10	14		(単位：人)
6年生	18	17	2030年度	2035年度
計	84	73	58	45

14

## 城崎地域、港地区の再編の枠組(案)

No.	検討対象校	枠組(案)	優先度
2	港中学校 城崎中学校	港中 + 城崎中	B 5~10年後

### 【考え方】

- 港中学校は、2030年度には50人を下回る見込みであり、集団活動や部活動等、様々な面で課題が生じてきている。
- 城崎中学校についても、2030年度には60人、2031年度には54人程度となる見込みである。
- 将来的に、港小学校と城崎小学校の再編も検討が必要であり、施設一体型小中一貫校とする検討も必要。

15

## 港中学校、城崎中学校の学年別生徒数見込

港中	2021年度	2021年5月1日時点 (単位：人)		
1年生	13	(単位：人)		
2年生	19			
3年生	16			
計	48			
		2027年度	2030年度	2035年度
		41	46	26

城崎中	2021年度	2021年5月1日時点 (単位：人)		
1年生	18	(単位：人)		
2年生	22			
3年生	25			
計	65			
		2027年度	2030年度	2035年度
		72	60	44

16



## 学校再編を進めるにあたっての審議会からの付帯意見

1. 児童生徒への配慮
2. 通学への配慮
3. 放課後児童クラブ利用者への配慮
4. 魅力ある学校づくり
5. 地域活動の拠点としての活用（学校の跡地利用）
6. その他
  - (1) 豊岡小学校の分散進学の解消
  - (2) I C Tの活用

17

## 4. 今後の進め方

18

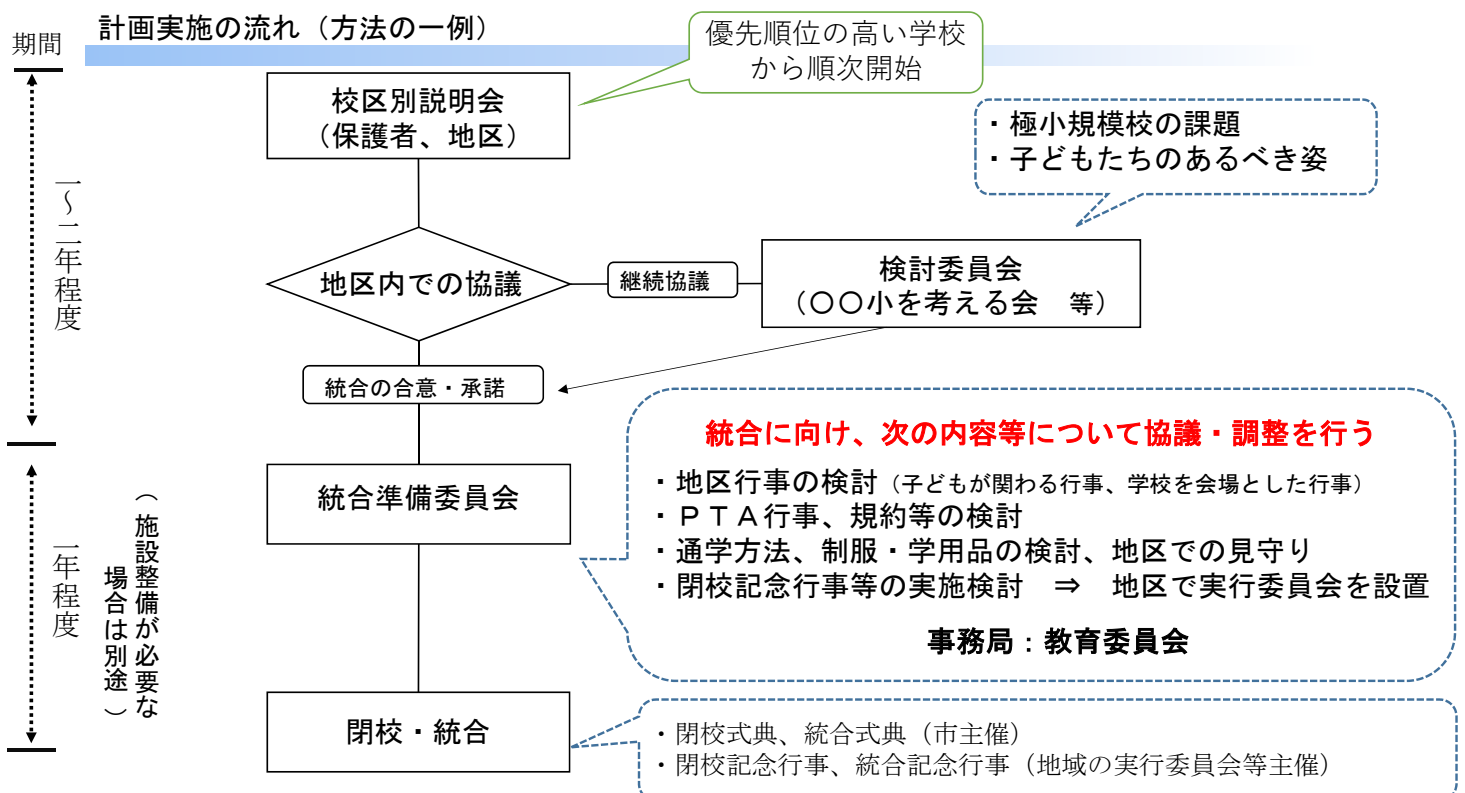
## 今後の進め方

### スケジュール

※太文字は地域住民の意見を聞く場

時期	内容
2021年7月	答申内容の <b>地域説明会</b>
2021年11月頃	計画(案)の <b>地域説明会、パブリックコメント</b>
2021年12月末頃	計画策定・公表
2022年1月～	統合に向けた <b>校區別説明会</b> (順次)
2022年4月	計画スタート、 <b>地域の検討組織等の設置調整</b>
2023年4月	学校統合(最も早い場合)

19



## 5. 参 考

21

### (参考)地域独自の動き

**中竹野小学校** 児童数 23人 (3年生児童は0名)  
2020年9月に要望書が提出

**竹野南小学校** 児童数 23人  
2021年2月に要望書が提出

2022年4月に竹野小学校に統合予定

※児童数は2021.5.1 時点

22

## (参考)港小学校の様子

2021年4月  
港東小学校と  
港西小学校が統合

大休憩の時間には、みんな  
で相談しあって今日の遊び  
を決めています



複数のグループで教え合い、  
相談し合える教育環境



## (参考)港小学校 子どもアンケート

- 人数が増えて、初めてみんなとドッチボールができた。  
遊びもできないことができるようになった。
- 趣味の合う友だちが増えた。
- 授業でみんなの案がたくさん出て、考えが広がった。
- 何かを決める時に、一人一人の意見があるから、  
なかなか決まらなかった。

